

22年度決算認定

第3回定例会
で
決まりました

平成23年第3回定例会は9月1日から21日まで、21日間で開催されました。今回の定例会では、「平成22年度各会計の決算認定」や「瑞穂町教育委員会委員の任命」など、合わせて34件の町長提出議案と、「原子力エネルギー政策からの撤退に向けた自然エネルギーへの転換と放射線汚染の測定強化を求める意見書」など4件の議員提出議案を審議し、すべて承認、同意、認定および原案どおり可決しました。

今回の議会には、平成22年度一般会計・各特別会計の決算認定議案が上程されました。決算特別委員会での審査後本会議において、一般会計を賛成12名、反対3名で、また、各特別会計については全会一致で、認定しました。

町長が決算議案を提出



石塚町長が決算を提出

決算認定の議案を提出するにあたり、町長から22年度は第3次長期総合計画の最終年であるとともに、町制施行70周年という節目の年度でもあり、多くの記念事業を実施することができたとの説明がありました。

なお、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、普通会計における健全化判断比率は健全であるとの報告がありました。

「環境と共生するまちづくり」

- ・住宅用環境配慮型機器購入費助成を開始
- ・不老川へ排水量調整のための雨水調整池を整備（二本木）
- ・駅西・殿ヶ谷の土地区画整理事業の推進
- ・元狹山広域防災広場完成
- ・第4分団消防ポンプ自動車購入

「活力ある生活を支えるまちづくり」

- ・中小企業振興資金の対象枠の拡大
- ・第2弾プレミアム付き商品券発売

「自らを高め互いを認め合うまちづくり」

- ・福祉バスの試行運行を開始
- ・ふれあいセンター・福祉作業所「さくら」開所
- ・認可保育所開設準備補助金交付
- ・第五小学校および第二中学校の耐震補強工事完了
- ・青少年海外留学奨学金等支給制度開始

「計画の推進」

- ・西多摩郡町村電算共同運営計画の推進
- ・「みらいに ずっと ほこれるまち」第4次長期総合計画を策定

各会計の決算額

会計名	歳入	歳出
一般会計	150億9,228万1,218円	146億2,638万25円
特別会計		
国民健康保険	36億4,341万6,685円	36億1,209万3,396円
駅西土地区画整理事業	7億9,363万7,958円	7億7,503万8,189円
下水道事業	11億406万6,755円	10億8,247万5,089円
老人保健医療	625万5,932円	625万5,932円
介護保険	15億805万3,351円	14億9,225万6,572円
後期高齢者医療	4億2,330万546円	4億1,954万2,285円
殿ヶ谷財産区	576万9,891円	461万9,202円
石畑財産区	2,074万602円	1,601万9,702円
箱根ヶ崎財産区	906万5,848円	738万4,730円
長岡財産区	79万1,133円	53万2,192円

決算特別委員会で審査

議員から170件の質疑

町側から議案の提出を受けた議会では、直ちに決算特別委員会を設置し、委員長に石川修議員、副委員長に高橋征夫議員を選出。議長、議会選出監査委員を除く14名により、3日間にわたって審査を行いました。

一般会計では、前年度と比較して歳入では約15億2,944万円（11・28%）の増、歳出では約15億8,459万円（12・15%）の増となっています。

各議員の賛否は7ページに記載



決算特別委員会での審査の様子



起立採決の様子(本会議)

一般会計決算における決算委員会質疑のピックアップを次ページ以降に掲載しております。

一般会計については、次のとおり賛成・反対の討論が行われました。(要約)

賛成

高橋 征夫議員

財政確保が厳しい中、ハード面では、基盤整備推進の為、殿ヶ谷・駅西土地区画整理事業と栗原地区の事業認可に向けた支援を継続実施した。ソフト面では、認可保育所開設準備補助金交付や福祉バスの運行改善、新規事業として八丈島への中学生の生活体験活動などが実施された。各種事業を進めつつ、経費削減に努め、健全財政が維持されたと評価する。

反対

近藤 浩議員

第二中学校グラウンド南側をこっそりと削ってまで作った意味のない道路。また、そこにあった桜並木もすべて無残に伐採された。この暴挙には、反対せざるを得ない。

八高線複線化凍結に伴うJRから町への25億の臨時収入（JR車輛基地の特別土地保有税）は、震災対策や住民福祉に有効に活用すべきではないか。町は、現場の声にもっと耳を傾けるべき。

大坪議員からも反対討論がありました。